

教員名(Name) : 橋尾 晋平 (Shimpei HASHIO)

***ゼミタイトル Seminar Title**

コミュニケーション理論と実践分析 (Communication Theory and Practice)

***授業概要 Outline of the contents**

コミュニケーションの理論や現象について幅広く学びます。対象言語は主に英語と日本語ですが、扱うテーマとゼミのキーワードは以下のとおりです：

- 言語コミュニケーション (語用論、ポライトネスなど)
- 非言語コミュニケーション
- コミュニケーションの形態 (個人内コミュニケーション、対人コミュニケーション、集団コミュニケーションなど)
- コミュニケーション・スタイル
- 言語・文化差によるコミュニケーション
- コミュニケーション能力
- 言語習得論に基づくコミュニケーション教育

また、後述のとおり、発表活動が中心となるため、レジュメの作成方法や発表・議論の進め方についてもフィードバックを行い、プレゼンテーション能力やディスカッションのスキルを身につけていきましょう。

***授業の形式 How the class is conducted**

1期・2期ともに、前半は課題文献に関する個人・グループ発表を通して、コミュニケーションの理論を学びます。課題文献は、皆さんの関心に応じて選んだ本のチャプターや論文などを扱い、それらの内容をレジュメや PowerPoint などのスライドにまとめ、授業時に発表してもらいます。

後半は、前半で学んだ理論や分析方法を活用し、受講生の皆さんが興味を持っているコミュニケーションの現象について、分析や調査を行うミニリサーチ活動を通して、実践的にコミュニケーションの理論を深めていきます。

取り扱う現象としては、著名人のスピーチやプレゼンテーション、洋画・海外アニメ・小説などのフィクション内のコミュニケーション、英語ネイティブ同士の会話、または皆さん自身が当事者となるコミュニケーションなど、幅広く想定しています。

発表活動が中心となりますが、発表者以外の学生も、発表内容に対して質問やコメントを行うなどして、積極的にディスカッションに参加してください。

***課題・成績評価基準 Requirements and Assessment**

課題文献に関する個人・グループ発表、ミニリサーチ活動に関する個人・グループ発表、授業時の発表に関するディスカッションへの参加を総合して評価します。

***その他 Others**

- 名古屋外国語大学のその他の授業と同じルールの中でゼミを運営していきます。
- ゼミ選択におけるミスマッチなどが起きないように、わからないことがあれば遠慮なく期日までに対面・メール等でご相談ください。
- 文献については、可能であれば1回以上は英語文献に取り組み、英語文献を読む力を養うことも目指します。

こんな人におすすめ！

- じっくり考えて答えを導く学びが好きな人
- コミュニケーションの仕組みについて体系的に勉強してみたい人
- コミュニケーションや会話を分析することやその分析方法自体に興味がある人
- 学問的な内容を英語学習や日常生活に活かしたい人と思っている人
- 外国語コミュニケーションの教育に興味を持っている人
- 「ことばとコミュニケーション」や「英語コミュニケーション論」などの授業内容が面白いと思った人